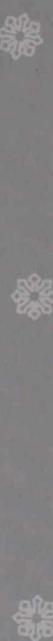


カナダの冬は

祭りの季節



典が繰り広げられる。
カーニバルの熱気
をいやが上にも盛り
上げるのは、いろいろな競技大会やコン

テストだ。ケベック市では、セントローレンス川のカヌー横断レースがハイライ

トになる。巨大な氷

盤がさかんに流れれる川を、五人乗り

のカヌーが向こう岸まで一・六キロの白

熱したレースを開催する。川の真中で水

盤にぶつかつたりすると、漕ぎ手がカヌー

から氷盤によじ登つて重いカヌーをや

つこらさと引き上げ、急いで氷の上を走

つていく姿など、とてもユーモラスだ。

ブリティッシュ・コロンビア州バーノンのウインター・カーニバル（二月六日十五日）は、スノーゴルフ、水上野球、

障害物スキーが名物である。

B.C.州のゴルフ・マニアが、夏を待ち

きれずに始めたのがスノーゴルフ。これ

はまたたく間に広まつた。

ゴルフボールは色付きのテニスボール、

クラブはほうきでも棒でも何でもいい。

ホールは雪を掘つて水をかけ、凍らせたもの。押し固めた雪と氷がグリーンになる。

カナダでは、野球もウインター・スポーツとなる。ルールは普通の野球と変わらない。ただ、スケートをはいて打つた

り投げたりするのは、相当骨が折れる。障害物スキーも面白い。坂を登り、巨

大なタイヤをはい上り、あるいは池を回

りこんだりしてゴールインしなければならないので、このレースでこれまでスピード記録が出たという話はついぞ聞かない。

もちろんはじめなスキーダイナミック大会も行われている。これには米国や欧州からも、たくさん的人が参加する。そのほかスノーモービル大会、クロスカントリー・レース、雪合戦大会、チビッ子アイスホッケー大会、カーリング大会、それにペット・シヨーまでがバーノンの祭りを彩る。

そしてカーニバルの夜は、毎夜、仮装舞踏会でふけていく。

B.C.州キンバレーの冬祭り（二月十一日）

のボヤジヤーの祭り（二月十四日～二十二日）がある。ボヤジヤーとはカナダの草

創期に活躍した狩猟者や冒險家のことで、この祭りは、勇敢な一人のボヤジヤー、ジャン・バブティスト・ラジモジエールがある使命のためにセントボニフェスからモントリオールまで深い雪の中を歩き通した壯舉を記念したものだ。だから祭りの行事もそれになんで、かんじき競走、クロスカントリー・スキー・マラソン、ひげコンテスト、ジグダンス・コンテスト、モカシン・ダンスなどと一風変わった催しが展開される。

ボヤジヤーの祭りで最高に沸くのは、犬ぞりレース。かつてカナダの冬に欠かせない存在だった犬ぞりの奮闘に、観客は郷愁と愛着をこめて声援を送る。

こうして厳しい冬も、華やかな祭りの色で塗られていく。そして、人々の間に祭りの興奮がさめかけた頃、カナダには遅い春がやってくる。



ケベック・カルナバルの人気者“ポンノーム”

—十五日）も楽しい。キンバレーは“ロッキーのバイエルン市”といわれるほど、ドイツの香りを漂わせた町だ。ビール祭りやドイツ音楽の夕べで賑わう中で、呼び物のこつけいなレース「シュムーライン」が行われる。これは一種のスキーナーだが、一台のスキーワー（ただの板切れ二枚を革ひもで足にくくりつける）に二人がのり、声をかけあいながら坂をすべり下りる競争だ。二人の息の合つたコントロールがなかなか難しい。そのほか綱引き、凧あげ大会などもある。